

タイトル: 北極域の急速な温暖化

発表者: 庭野匡思 (気象予報研究部)

概要:

近年の地球温暖化に伴い、地球の南北両極において著しい気温上昇が観測されています。とりわけ、北極域における近年の気温上昇率(0.6°C/10年)は全球平均の約2倍となっており、世界の温暖化の最前線に位置していると言えます。北極域での気温上昇は、様々なメカニズムを介して雪氷の融解を加速します。生成される多量の融解水の一部は、周辺の海洋に直接流出すると同時に、氷床や氷河の流動を助長し、海洋への氷体流出も引き起こします。海洋に流入するこれらの融解水と氷体は、全球の海面水位上昇と海洋循環の変化を引き起こすことから、日本に住む私たちにとっても他人事ではありません。しかし、これらの変化の実態には不透明な点が依然として非常に多く残っています。私たちは、グリーンランドでの気象・雪氷観測と数値モデリングを駆使して、現在の北極域における気象・雪氷の物理状態について詳細な実態解明に挑んでいます。本講演では、私たちの最新の研究活動を紹介することを通して、北極域の現状を分かりやすくご説明します。